

最新情報を
毎月発信!

滋賀県立成人病センター

第4回がん診療セミナー

滋賀県立成人病センターでは、がん診療を担う若手医師養成を目的とした「がん専門医臨床研修プログラム」の一環として、毎月1回「がん診療セミナー」を開催しております。

このセミナーは、研修プログラムを受講する医師だけでなく、看護師、技師、その他の医療職を対象としたオープンセミナーとして開催いたします。県内医療機関のみなさまはもちろん、関心のある方でしたら、患者さんや一般市民など、どなたでもご参加いただけます。

多数のみなさまのご参加をお待ちしております。

5月26日(水)
17:30~19:00

肺がんに対する化学療法の実際

日本における死因の第一位は「がん(30.1%)」であり、部位別がん死亡率の第一位は「肺がん(49.1%)」です。(いずれも2005年)。CTやPETの普及で、早期肺がん手術例は増加していますが、診断時に手術不能である肺がんの患者さんが多いのも事実です。

進展した肺がんに対しては抗癌剤投与が行われます。抗癌剤投与により、生存期間の延長・QOLの改善が図られるためです。

最近では、治癒切除した早期肺がん手術例に対しても、生存率の向上のため術後化学療法が行われるようになってきました。

肺がん可以使用できる化学療法薬は、1990年代に臨床に導入されたいわゆる「新規抗癌剤」に加え、第4世代ともいべき薬剤や分子標的薬剤が臨床応用されるようになってきました。

肺がんに対する化学療法の実際を、医師・薬剤師・看護師の立場から多面的に講演いたします。

講演1:肺がん化学療法

滋賀県立成人病センター 呼吸器内科 科長 中谷 光一

講演2:肺がん使用する分子標的薬

国立病院機構京都医療センター薬剤部 薬剤師 瀬戸口 由

講演3:がん化学療法における症状緩和の実際

(悪心・嘔吐について)

滋賀県立成人病センター 看護部 がん化学療法認定看護師
主任看護師 萬野 邦子



日時 平成22年5月26日(水) 17:30~19:00 (受付17:00~)

会場 滋賀県立成人病センター 研究所講堂

【住所】守山市守山5-4-30

【交通】JR守山駅からバス約10分

対象者 医療関係者(一般の方のご参加も歓迎します)

定員 150名(当日先着順)

申込不要・参加費無料

今回のセミナーは日本医師会生涯教育制度指定講習会(2単位)です。

【会場案内図】

